

第27回 神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会

---

## 最新の取組状況の紹介

---

- 国道246号東原四丁目交差点ピンポイント対策
- 渋滞対策事業が未対策の主要渋滞箇所について

令和5年2月28日

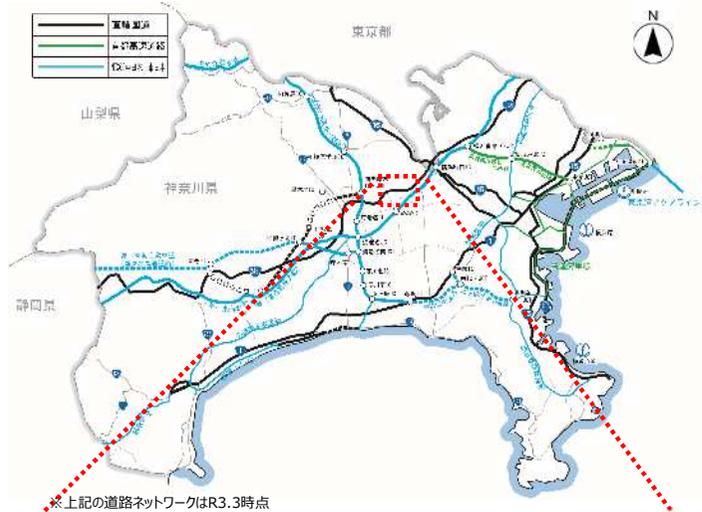
# 6 最新の取組状況の紹介

## 6-1 国道246号東原四丁目交差点ピンポイント対策(右折レーンの延伸等)

○座間市の国道246号東原四丁目交差点は、下り方向において右折車両の集中により直進車を阻害し、渋滞が発生。さらに、追突事故等も発生し安全面でも課題となっていた。

○このため、右折車線延伸工事を実施し、現況40mの右折レーンを125mに延伸。さらに事故対策として、減速ドットライン、追突注意の路面標示を設置。令和4年3月に工事着手し、令和4年7月に工事完成。

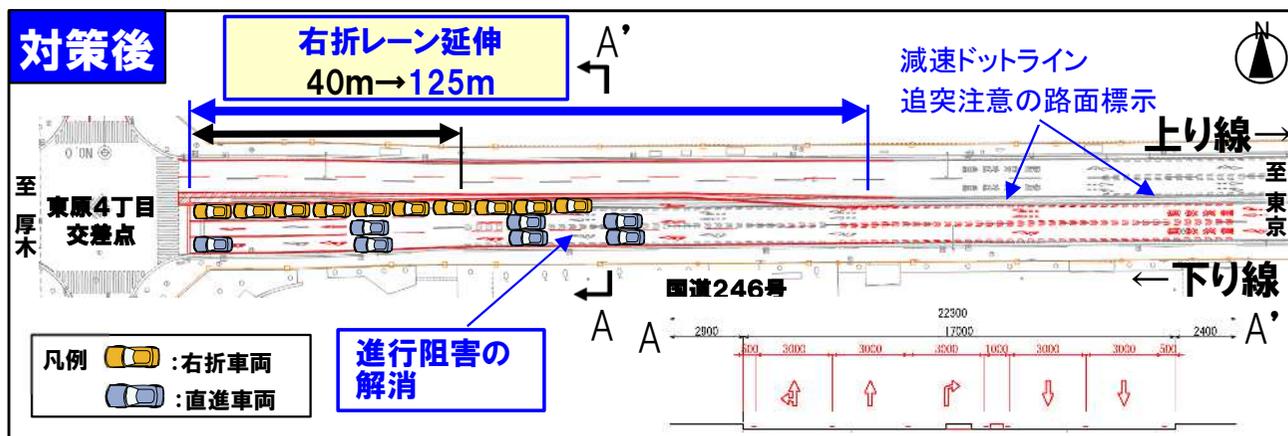
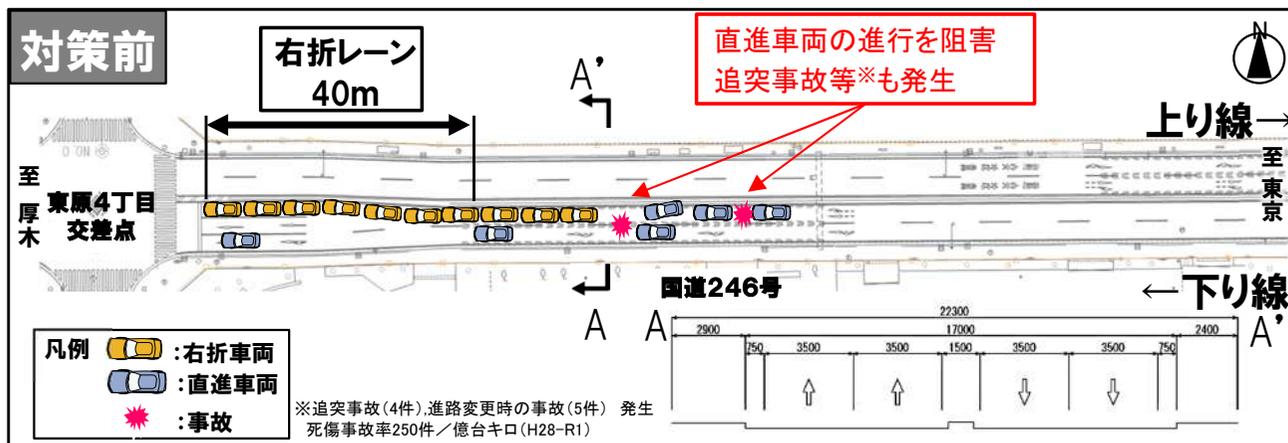
### ■ 位置図



### ■ 詳細図



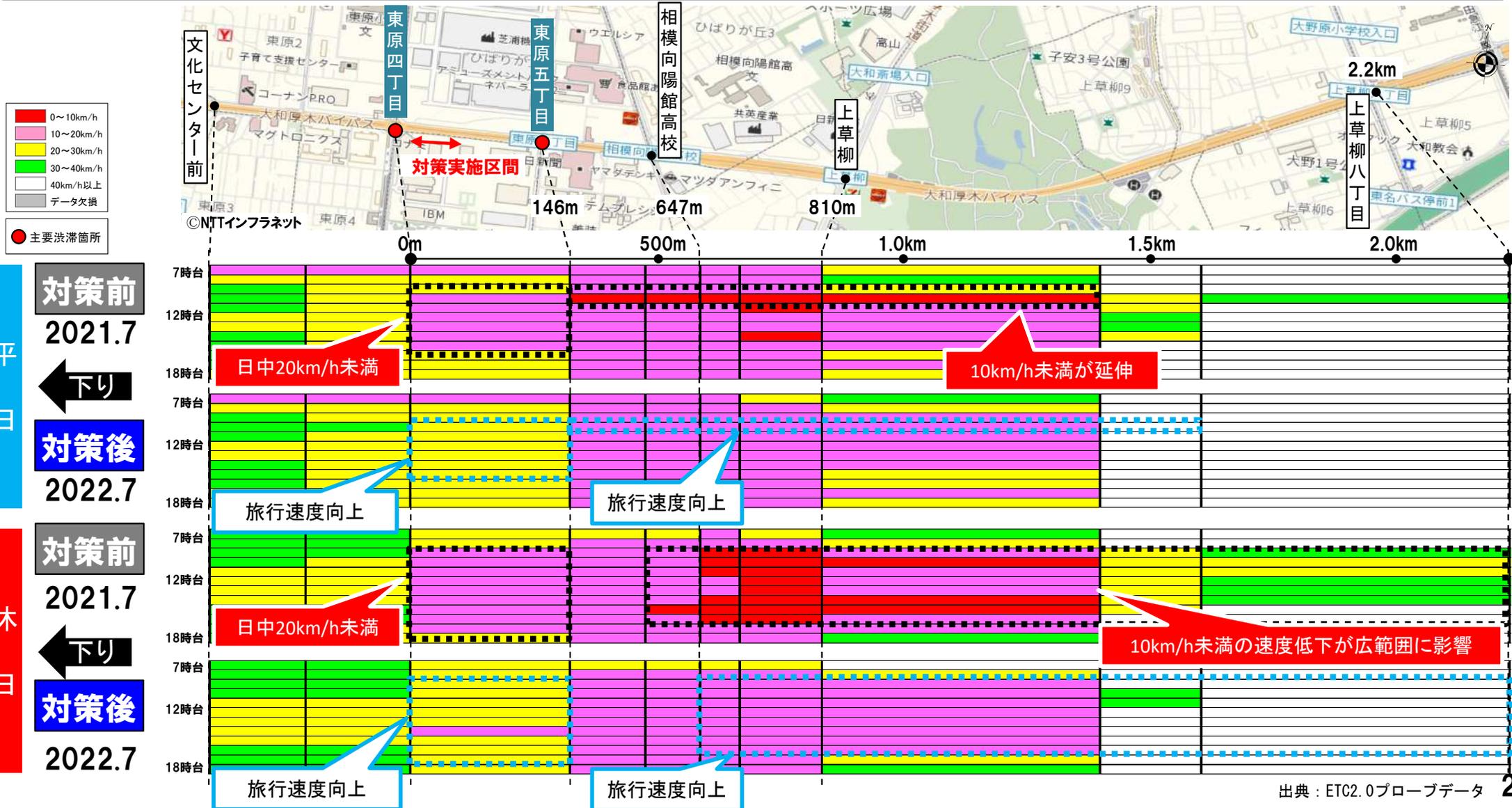
### ■ 事業概要



# 6 最新の取組状況の紹介

## 6-1 国道246号東原四丁目交差点ピンポイント対策(右折レーンの延伸等)

- 国道246号東原四丁目 下り方向右折車線延伸整備前後における速度状況の変化を分析した。
- 平日・休日ともに20km/h未満の速度低下が発生していた東原四丁目～東原五丁目間で旅行速度が向上。
- 休日では、相模向陽館高校以东の10km/h未満の旅行速度が全体的に向上。



# 6 最新の取組状況の紹介

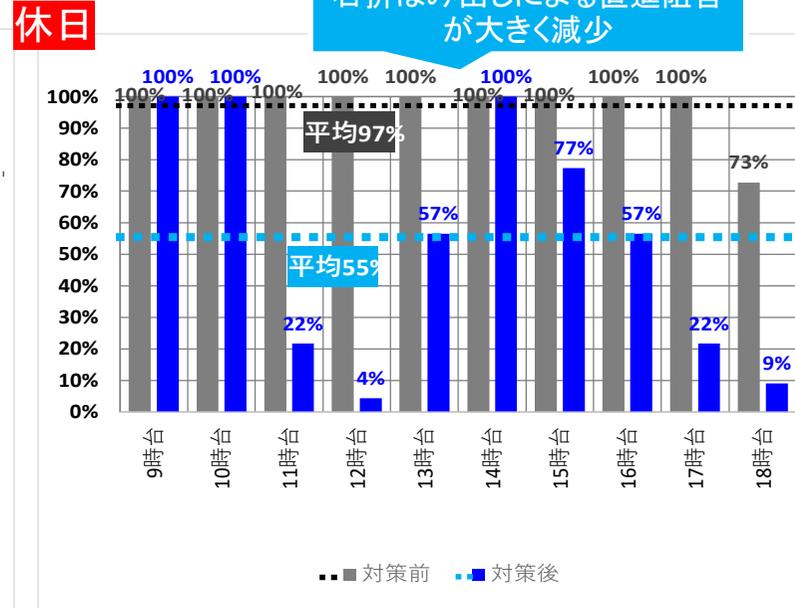
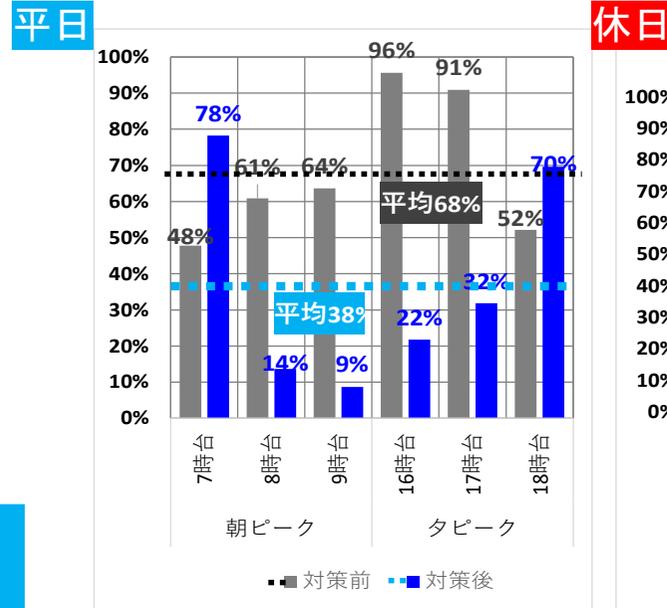
## 6-1 国道246号東原四丁目交差点ピンポイント対策(右折レーンの延伸等)

- 実測調査結果を用いて、対策前後の右折車両の右折車線はみ出し回数の変化を分析した。
- 右折車線延伸により右折車両が車線内に収まることで、直進車両の阻害が緩和。
- 特に、休日の日中を通じてほぼ毎サイクル発生していた右折はみ出しによる直進阻害割合が大きく減少。

### ■ 対策前後写真

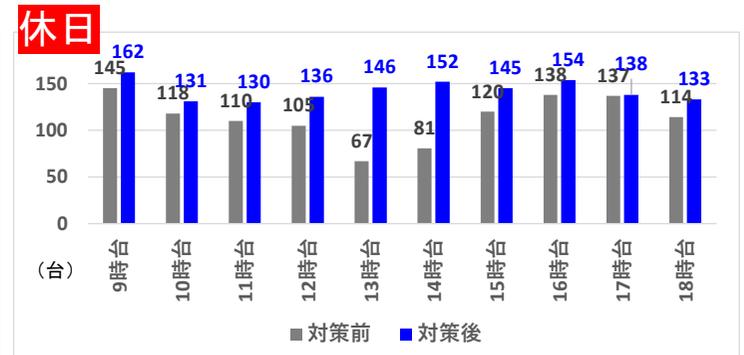
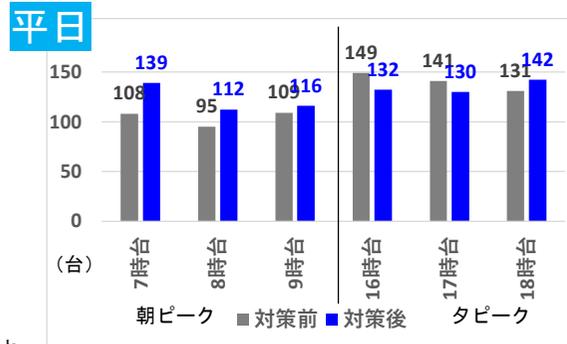


### ■ 右折はみ出しによる直進阻害割合



算出方法：1サイクルのうち、1度でも右折車線をはみ出したら1回とカウントし、右折車両が右折車線長をはみ出した回数を1時間毎に集計。これを信号サイクル回数で除することで算出。

### (参考) 右折交通量



実測調査日

対策前 平日：令和3年6月2日(水) 天候：曇り  
 対策後 平日：令和4年8月2日(火) 天候：晴れ

休日：令和3年6月6日(日) 天候：雨  
 休日：令和4年7月31日(日) 天候：晴れ

## 6 最新の取組状況の紹介

### 6-2 渋滞対策事業が未対策の主要渋滞箇所について

- 主要渋滞箇所380箇所(R4.8時点)については、各道路管理者において渋滞対策事業を立案し、『未対策(対策案検討済)』又は『実施中』又は『完了(一部完了含)』しているところであるが、渋滞対策事業が定まっていない主要渋滞箇所も存在する状況。
- 渋滞対策事業が定まっていない主要渋滞箇所については、事務局と各道路管理者において渋滞対策事業(案)を検討し、次回委員会から順次報告。概ね10年後※を目途に、全主要渋滞箇所の渋滞対策事業を定めることを目標とする。(※目標時期は各道路管理者と協議し設定予定)

